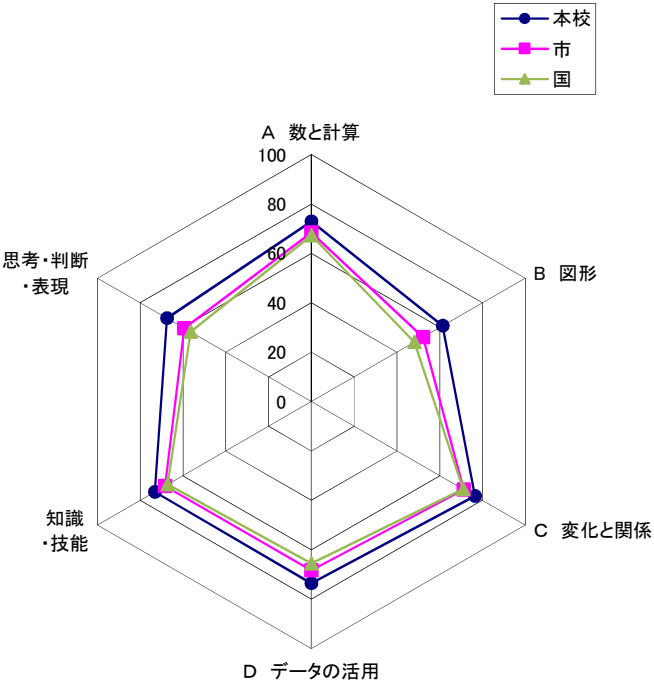


宇都宮市立富士見小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	72.9	68.4	67.3
	B 図形	61.4	52.2	48.2
	C 測定			
	C 変化と関係	76.5	71.2	70.9
	D データの活用	73.6	68.3	65.5
観点	知識・技能	73.2	68.4	67.2
	思考・判断・表現	67.5	59.4	56.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	○本領域の平均正答率は72.9%で、国の正答率を5.6ポイント上回った。 ○「(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる」の平均正答率は、58.4%で、国の正答率を10.8ポイント上回っている。 ○「()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる」の平均正答率は、77.2%で、国の正答率を6.9ポイント上回っている。	・単元の導入や困難が予想される問題など、実際に児童が作業するための具体物や半具体物を用意し、個に応じた指導の充実を図る。日常生活の具体的な場面に対応させながら、問題文の事柄や関係を式に表すことができるよう指導を行う。 ・問題文を読み取り立式させるだけでなく、問題文のどの部分を根拠にその式になったのかを発表させたり、記述させたりする。
B 図形	○本領域の平均正答率は61.4%で、国の正答率を13.2ポイント上回った。 ○「台形の意味や性質について理解している」の平均正答率は、74.3%で、国の正答率を14.5ポイント上回っている。 ●「正三角形の意味や性質について理解している」の平均正答率は、国の正答率を6.8ポイント上回っているが、31.7%であった。	・正方形、長方形、三角形、平行四辺形、台形など基本図形の面積の求め方や性質について、練習問題を繰り返し行い、定着を図る。また、複数の図形が組み合わさった形など、特別な場合に活用できるよう指導する。
C 変化と関係	○本領域の平均正答率は76.5%で、国の正答率を5.6ポイント上回った。 ○「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる」の平均正答率は99%で、国の正答率を5.4ポイント上回っている。 ●「百分率で表された割合について理解している」の平均正答率は、国の正答率を3.5ポイント上回っているが、49.5%であった。	・百分率や割合、比例を求めるための知識の定着を図るため、プリントやドリル学習などを通して、繰り返し指導する。また、身近な課題を取り上げた問題を数多く設定し、応用力を養っていくことに努める。
D データの活用	○本領域の平均正答率は73.6%で、国の正答率を8.1ポイント上回った。 ○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる」の平均正答率は、68.3%で、国の正答率を12.1ポイント上回っている。 ○「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる」の平均正答率は、73.3%で、国の正答率を8.7ポイント上回っている。	・基準量、比較量、割合を求める基礎問題に取り組むだけでなく、それぞれの意味や関係を確認し、理解を深めさせていく。また、割合のグラフをかくだけでなく、グラフの数値を読み取り、それを活用する問題や経験にふれさせる活動をしたい。